

市長に聞いてみよう



かわぐち たかひろ
川口 貴大くん

東部中学校 3年生

初めて市長さんと話して緊張しました。でも、とても優しく、いいひとだと思いました。聞きたいことが聞けてよかったです。

います。順に話しますと、市では、まず公共施設の耐震工事を行っています。中でも、皆さんの避難所となる学校や体育館の整備が必要です。これは相当なお金がかかるんですけど、一刻も早くやっていかないと皆さんが安心できませんので、一生懸命でやっています。もう一つは、市民の皆さんの活動です。地震の基本として、まず自分の身を自分で守っていただくことが大切です。そこで、いちばんお世話になって力を入れていただくのが、地域の自主防災会です。地区とか町内会とか、自分のいちばん身近な単位ごとでつくっていただいて、その中に、自衛消防隊をつくっていただいています。消防団のOBのような方が中心となっていていただいています。こういう方々は訓練されていますので、いざというとき、火災や救助の場面でも対応が

できるんですね。またその中で、防災リーダーを選んでいただいで、各地区で先頭に立っていただいでいます。地区で避難訓練などがあっても、今までのように役員さんだけが参加するようでは、避難場所の位置もなかなか浸透しませんので、いざど訓練をやってみようかということ、新年早々に市をあげての避難訓練をやってみます（1月18日に実施済）。自主防災会の指導で、実際に非常持出袋をしょって、皆さんで避難場所まで行ってみようかということなんです。中には、自分の地区の避難場所をよく知らない方もいるんじゃないかと思えますので、この機会によく覚えていただこうと思っています。

河合 市民全体の避難訓練で、どのような行動が望まれますか？
市長 そうですね、総代さんや防災リーダーさんの指示に従って避難していただけるとうれしいです。ね。バラバラでは困りますし、「どうせ訓練だから」と言って参加しない人ほど、実際の避難場所を知っていないか？たりしますのですね、皆さんで参加して、防災リーダーさんからお話を聞いて、一緒に日ごろの心構えを考えていただけたらと思います。

河合 大地震が起きたとき、どんなものが支給されますか？
市長 避難所とかに支給するものですね。避難所ができる、水とか、食料とか、毛布とか、それからトイレなどいろいろなものが必要になって大変ですね。地域の防災倉庫のほかに、集中管理の防災倉庫などで備蓄しておいて、心配ないようになりたいと思います。それでも、3日間くらいは自力で生活できるくらいの非常食をご家庭で用意してもらって、それを持って避難していただきたいと思っています。



かわい ゆうこ
河合 悠子さん

野田中学校 3年生

緊張しましたが、市長さんは無口な人だと思っていましたが、細かいことまで教えてくれてうれしかったです。今日このことは友だちにも話します。

河合 どうもありがとうございます。
市長 はい、お願いしますね。ありがとうございます。
河合 ありがとうございます。皆さん、よく分かりました？
市長 はい。今日は、本当にためになりました。どうもありがとうございます。
市長 こちらこそ、皆さんと楽しく話しができて良かったです。途中で言い切りましたが、21世紀はあなたたちの時代ですから、素晴らしい人になってもらって、世界の役に立つようになってください。期待しています。ありがとうございます。

ここでご紹介した以外にもさまざまな話題が上り、終始和やかな座談会でした。また、このときの様子は、ケーブルテレビの市政番組「街角ネット」でも一部が放映されました。（構成・広報たはら）